

事務事業名	土木事務事業			事業コード	08010120101		
所管部署	建設課		電話	50-3051		記入者名	前川 俊弘
事業対象	坂井市民 福井県民						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・河川・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。						
	県道路協会負担金、県港湾協会負担金、新九頭竜橋建設促進期成同盟会負担金などの国及び県との事業連携を図るために必要な負担金等の予算を計上する。						
事業の目的・事業の概要等	○旅費	148千円					
	・ 総会等旅費 他						
	○燃料費	0千円					
	・ 混合油						
	○食糧費	146千円					
・ 会議用膳							
○使用料及び賃借料	40千円						
・ 大型コピーリース料 他							
○負担金	749千円						
・ 県道路協会負担金 他							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	各種総会経費の削減に努めてきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	負担金の削減に取り組んでいます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費					
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	千円	千円	千円	千円				
			需用費	146千円	7千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	937千円	853千円	千円	千円				
			事業費合計	1,083千円	860千円	千円	千円				
	人件費		正職員	1.58人	11,232千円	0.94人	6,682千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.58人	11,232千円	0.94人	6,682千円	人	千円	人	千円
	総事業費		12,315千円	7,542千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源			12,315千円	7,542千円	千円	千円					
財源合計			12,315千円	7,542千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木行政の円滑な推進を図ることは必要と考えるため、継続します。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県及び関係者との調整が必要となるため、市が実施します。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算により、事務改善、省力化に努めます。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員により、事務改善、省力化に努めます。				
すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。				
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。				
目標年度 -- 年度					

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	市内交通事故死者数	人	0	0	0	0
		達成率	0	0	0	0
成果	丸岡インター連絡道路改良率	%	0	0	0	0
		達成率	0	0	0	0
活動	日本港湾協会 総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
活動	福井県道路協会総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率

事務事業名	県営事業負担金			事業コード	08010120106		
所管部署	建設課	電話	50-3051		記入者名	前川 俊弘	
事業対象	市民 県民 道路利用者						
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市内県道の改良工事を促進させることにより、良好な道路ネットワークを整備し、市民の利便性の向上および産業の活性化を図ります。						
	福井県が実施する県道改良事業等にかかる事業費の一部を負担する。						

すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費			
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	33,327千円	27,278千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	33,327千円	27,278千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.12人 853千円	0.13人 924千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.12人 853千円	0.13人 924千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	34,180千円	28,202千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	6,800千円	2,800千円	千円	千円	千円	千円	
その他		6,425千円	325千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		20,955千円	25,077千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	34,180千円	28,202千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	福井県が実施する県道改良事業促進につながることは、市内道路整備に重要と考えるため継続します。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県におけるルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県におけるルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ない。				
すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり、事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。				
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。				
目標年度 -- 年度					

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	県道での交通事故件数	目標値	150	150	150	150
		実績値	---	---	---	---
活動	県事業についての協議回数	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	100	4	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【コスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	道の駅管理運営事業			事業コード	08010120111
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	篤田 耕栄
事業対象	道の駅利用者				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	道の駅の清掃及び設備管理に関する業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくにと道の駅さかいを管理運営する。				
	市内2箇所の道の駅の管理業務（道の駅みくに、道の駅さかい）を行う。 ○消耗品費 335千円 ・ トイレ、施設管理用消耗品費 ○光熱水費 2,864千円 ・ 電気料、上下水道料 ○修繕料 20千円 ・ 施設等修繕料 ○通信運搬費 98千円 ・ 電話料 ○委託料 4,869千円 ・ 道の駅維持管理委託料 他 ○使用料及び賃借料 209千円 ・ ケーブルテレビ利用料 他 ○負担金 60千円 ・ 近畿「道の駅」連絡協議会負担金				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	限られた予算の中で、お客様が気持ちよく利用できるよう維持管理できました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理につとめていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	適正な管理により実行してきております。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	4,869千円	4,869千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	3,231千円	3,342千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	98千円	93千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	269千円	272千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	8,467千円	8,576千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.30人	2,133千円	0.70人	4,976千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30人	2,133千円	0.70人	4,976千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	10,600千円	13,552千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			447千円	445千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		10,153千円	13,107千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,600千円	13,552千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道の駅が地域活性化と安全運転に寄与する比重が高いことから事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化により維持管理委託がなされているが道路施設については道路管理者の管理が妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化により維持管理費がこれまでに必要となってくる事が予想されるため。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小人員で管理を行っていきます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	道の駅みくに利用者数	万人	目標値	22	達成率	22.0	達成率	22.0	達成率
			実績値			---	21.8	99.09	22.4
活動	道の駅 施設点検回数	回	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値			12	100	12	100
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

事務事業名	道路橋りょう総務事業			事業コード	08020105101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章		
事業対象	坂井市民 道路通行者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。						
	市道の用地取得費等の償還、市道借地借上料の支払及び道路台帳の管理を行う。 ○委託料 ・ 道路台帳更新・修正業務委託料 3,864千円 ・ 他 他 ○使用料及び賃借料 8,565千円 ・ 市道敷地借上料						

すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,864	4,127	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	8,565	42,549	千円	千円				
	事業費合計	12,429	46,675	千円	千円					
	人件費	正職員	0.56 人	3,981 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.56 人	3,981 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
総事業費	16,410	51,651	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他	千円	10,000 千円	千円	千円					
	一般財源	16,410 千円	41,651 千円	千円	千円					
財源合計	16,410 千円	51,651 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道の適正管理に重要なことから継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正管理を継続するため、市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算により、事務改善、省力化に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員により、事務改善、省力化に努めます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
市道延長		km	目標値	785.9	達成率	788.5	達成率	785.9	達成率	780	達成率
			実績値	785.9	100	788.5	100	785.9	100	782.5	
道路台帳修正業務		千円	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	3307	---	4126	---	4200	---	2048	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	道路橋りょう維持事業			事業コード	08020200101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章
事業対象	坂井市民・道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

事業の目的・事業の概要等

- 賃金 84千円
  - ・清掃賃金
- 消耗品費 119千円
  - ・市道管理用消耗品費
- 光熱水費 2,739千円
  - ・照明灯・ポンプ等の電気料等
- 修繕料 13,937千円
  - ・市道修繕料
- 通信運搬費 30千円
  - ・跨道橋テレメーター回線使用料
- 委託料 22,145千円
  - ・樹木管理委託料 10,606千円
  - ・除草委託料 1,254千円
  - ・踏切保安装置維持管理業務委託料 2,551千円
  - ・道路施設維持管理委託料 5,686千円
  - ・トンネル点検業務委託料 2,048千円
- 原材料費 1,518千円
  - ・道路舗装補修剤、側溝蓋等

【事業のコスト】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費					
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	27,237千円	19,562千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	16,857千円	16,789千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	30千円	30千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	1,518千円	1,232千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	45,642千円	37,613千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	1.31人	9,313千円	1.80人	12,796千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.31人	9,313千円	1.80人	12,796千円	人	千円	人	千円
			総事業費	54,955千円	50,409千円	千円	千円	千円	千円		
			特定財源		国県支出金	3,922千円	千円	千円	千円	千円	
					使用料・手数料	千円	千円	千円	千円		
					分担金・負担金	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円	千円			千円	千円					
その他	925千円	千円			千円	千円					
一般財源	50,108千円	50,409千円	千円	千円							
財源合計	54,955千円	50,409千円	千円	千円							

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	街路樹に関する苦情件数	目標値		0	0	0		
		実績値	3	4	5	10		
成果	一般車両タイヤバンク件数	目標値		0	0	0		
		実績値	2	2	0	4		
活動	修繕件数	目標値	180	170	180	180		
		実績値	195	108.33	182	107.06	175	97.22
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路、橋梁、消雪装置等のインフラ維持のため必要不可欠と考えるため継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正管理を継続するために、市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算の中で、事務改善、省力化に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員の中で、事務改善、省力化に努めます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

事務事業名	除雪対策事業			事業コード	08020205101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	米元 悟史
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	機械による道路除雪および歩道除雪業務、消融雪施設の点検業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 道路除雪基本計画書、道路除雪実施計画書				

【事業の概要】

冬期間の積雪時における主要道路及び生活路線の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施します。

市が保有する除雪機械および民間保有の機械を使用し、道路および歩道の除雪を実施します。また、消雪パイプ等の消融雪施設も利用して冬期間の道路交通の確保に努めています。

事業の目的・事業の概要等

○消耗品費	1,948千円
・融雪剤、バッテリー等	
○光熱水費	5,961千円(4月～3月分電気料)
・融雪装置運転に要する電気料、水道料	
○修繕料	7,942千円
・除雪機械および消融雪施設の修繕料	
○役務費	1,992千円
・除雪車の車検、特定自主検査手数料 他	
○委託料	27,286千円
・除雪業務委託料（機械管理費＋作業委託料＋待機補償費）	19,481千円
・融雪装置点検業務委託料他	7,805千円
○使用料及び賃借料	24,377千円
・除雪機械借上料 他	
○工事請負費	1,480千円
・融雪装置点検清掃工事費	
○補助金	12,764千円
・道路除排雪機械整備費補助等	
○その他	1,115千円
・時間外勤務手当、公課費等	
○除雪機械購入費	16,048千円
・凍結防止剤散布車購入	

すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	27,286千円	53,732千円	千円	千円				
		需用費	15,859千円	20,975千円	千円	千円				
		役務費	2,061千円	1,938千円	千円	千円				
		その他	55,169千円	21,865千円	千円	千円				
	事業費合計	100,375千円	98,510千円	千円	千円					
	人件費	正職員	1.17人	8,318千円	1.17人	8,318千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.17人	8,318千円	1.17人	8,318千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	108,693千円	106,828千円	千円	千円				
		国県支出金	16,548千円	5,200千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		5,546千円	80千円	千円	千円					
一般財源	86,599千円	101,548千円	千円	千円						
財源合計	108,693千円	106,828千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	冬期間の交通確保は、地域経済等に大きな影響を与えるため継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市が直接実施することで、大雪時の災害対応等に迅速に対応できます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な除雪作業を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な除雪作業を目指します。			
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	市道の交通障害発生件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率	
			実績値	0	---	1	達成率	
活動	除雪機械稼働時間	時間	目標値		達成率		達成率	
			実績値	133	---	1624	---	1933
			目標値		達成率		達成率	
			実績値		達成率		達成率	
			目標値		達成率		達成率	
			実績値		達成率		達成率	
			目標値		達成率		達成率	
			実績値		達成率		達成率	

事務事業名	道路改良事業			事業コード	08020300101		
所管部署	建設課	電話	50-3051		記入者名	北出 泰章	
事業対象	坂井市民・道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	工事施工	
根拠法令	有	道路法 道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。						
	道路改良工事、道路舗装工事の実施及び道路拡幅工事に伴う土地分筆業務を行う。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品費 534千円</li> <li>・事務用消耗品費、工事発注用書籍、資料購入費等</li> <li>○委託料 5,200千円</li> <li>・積算システム保守委託 478千円</li> <li>・分筆登記、測量設計業務等委託料 3,042千円</li> <li>・路面性状調査業務委託料 1,680千円</li> <li>○使用料及び賃借料 652千円</li> <li>・工事積算システム使用料</li> <li>○工事請負費 297,615千円</li> <li>・市単独道路改良工事費 219,585千円</li> <li>・補助事業道路舗装工事 78,030千円</li> <li>○補償金 1,647千円</li> <li>・道路改良工事に伴う電柱移転等補償費</li> </ul>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	5,200千円	5,208千円	千円	千円				
		需用費	534千円	587千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	299,914千円	170,780千円	千円	千円				
		事業費合計	305,648千円	176,575千円	千円	千円				
	人件費	正職員	2.42人	17,204千円	2.66人	18,910千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	2.42人	17,204千円	2.66人	18,910千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	322,852千円	195,485千円	千円	千円				
		特定財源	43,615千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債		35,600千円	千円	千円	千円					
その他		495千円	千円	千円	千円					
一般財源		243,142千円	195,485千円	千円	千円					
財源合計	322,852千円	195,485千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	未改良区間の道路側溝等の工事を実施することは、安全、円滑な交通環境確保のために必要と考えます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	改良箇所の決定は、総合的な判断が必要なため市が実施します。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。					
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。					
目標年度 -- 年度						

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	市道での交通事故発生件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	未集計	---	未集計	---
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値			30.8	---
活動	用地買収事務	目標値	0	達成率	達成率 5	達成率 5
		実績値	0	---	7	140
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	区環境整備補助事業			事業コード	08020305101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	坪井 余次師		
事業対象	市内の自治会						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	区環境整備事業費補助金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。						
	同一会計年度内に1回（補助金の限度額200万円）補助する。 ○補助金 11,173千円 ・区環境整備事業費補助金						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	11,173 千円	7,014 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	11,173 千円	7,014 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.66 人	4,692 千円	0.53 人	3,768 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.66 人	4,692 千円	0.53 人	3,768 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		15,865 千円	10,782 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		15,865 千円	10,782 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	15,865 千円	10,782 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	行政区が実施する道路等の整備を助成することは、行政区の生活環境向上につながるから継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く、今後も市の支援が必要と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助率50%については、市民の負担と市の財政状況を鑑み妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	き安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	補助金申請待機件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	0	---	0	---	2	---
活動	補助金支出件数	目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値	12	---	14	---	9	---
活動	補助金支出実績	目標値	7000	達成率		達成率		達成率
		実績値	11173	159.61	7014	---	8143	---
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						



事務事業名	末政・随応寺線道路改良事業			事業コード	08020310101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	池本 成輝
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有 道路法・道路構造令				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	丸岡町市街地から春江町市街地を結ぶ幹線道路である末政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどによる渋滞が発生しているため、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童生徒の安全確保を図る。				
	<p>◆末政・随応寺線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体延長 L=2,150m</li> <li>・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）</li> <li>・全体事業費 2,050,000千円</li> <li>・事業年度 H11～H30</li> </ul> <p>【H25年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北横地地係の宅地買収（160.1㎡）、建物工作物補償（建物2棟他）</li> <li>・上記に伴う登記業務委託</li> <li>・北横地地係の道路改良工事一部着手</li> </ul> <p>○委託料 683千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登記業務委託料</li> </ul> <p>○工事請負費 13,629千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事費</li> </ul> <p>○公有財産購入費 6,932千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地購入費</li> </ul> <p>○補償金 80,780千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物移転補償費</li> </ul>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	683 千円	5,062 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	107,644 千円	50,708 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	108,327 千円	55,770 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.85 人	6,043 千円	0.79 人	5,616 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.85 人	6,043 千円	0.79 人	5,616 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	114,370 千円	61,386 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費	特定財源	国県支出金	63,949 千円	32,996 千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	33,900 千円		21,000 千円	千円	千円	千円				
その他	571 千円		538 千円	千円	千円	千円				
一般財源	15,950 千円		6,852 千円	千円	千円	千円				
財源合計	114,370 千円	61,386 千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡市街地と春江市街地を結ぶ幹線道路の整備は、道路ネットワークの形成に重要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行える改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	事業進捗率	%	目標値	46	達成率 44	達成率 40	達成率 38
			実績値	46	100	44	100
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	---	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---
			実績値	---	---	---	30.8
活動	事業費	百万円	目標値	達成率 ---	達成率 61	達成率 30	達成率 80
			実績値	114	---	61	---
			目標値	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---
			実績値				
			目標値	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---
			実績値				
			目標値	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---	達成率 ---
			実績値				

事務事業名	上安田八丁線道路改良事業			事業コード	08020310102
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

上安田八丁線は平成23年度末完成見込みの（都）川西国道線につながる市道であり、（都）川西国道線の開通後は交通量が増え、車両通行等の流れも変わるため、道路拡幅工事を行うことにより、混雑緩和を図る。

◆上安田八丁線道路改良事業  
 ・全体延長L=130m  
 ・W=10m(車道3.5m×2、右左折レーン設置、歩道なし)  
 ・全体事業費 73,000千円  
 ・事業年度 H23～H25

【H25年度事業内容】  
 ・道路改良工事 L=130m 全体完成

○工事請負費 21,945千円  
 ・道路改良工事費

予算	款	土木費		項	道路橋りょう費					
		平成25年度			平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	21,945千円	21,290千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	21,945千円	21,290千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.26人	1,848千円	0.28人	1,991千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.26人	1,848千円	0.28人	1,991千円	人	千円	人	千円
		総事業費		23,793千円		23,281千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	12,045千円	11,660千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	11,748千円	11,621千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		23,793千円		23,281千円	千円	千円	千円	千円		

成果	指標名	単位	年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率		
事業進捗率		%	目標値	100	達成率	100	達成率	39	達成率	5	達成率	
			実績値	100	100	69	69	39	100	5	100	
市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合		%	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値			---	---	30.8	---	---		
事業費		百万円	目標値	22.4	達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値	21.9	97.77	21.2	---	30	---	---		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									

すぐにできる改善提案	工事中の事故が生じないよう十分配慮し工事を実施します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	工事中に事故を生じさせず、年内に事業完成できた。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	安全で快適な道路環境整備ができた		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）			
	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？				A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？				A
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？				A
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？				A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）				A
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？				A
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？				A

事業の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
すぐにできる改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	宮領北部線道路改良事業			事業コード	08020310105
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内 孝治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計業務、工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	坂井町中心部から丸岡北部地域及び国道8号への幹線道路となる宮領北部線を整備することにより、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。				
	☆宮領北部線道路改良事業 ・全体延長=1,143m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2） ・全体事業費50,200千円 ・事業年度H23～H32 ・認可延長L=494m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2） ・認可事業費202,000千円 ・事業年度H23～H27  【H25年度事業内容】 ・認可区域女地係内用地買収完了 ・宮領地係内改良工事一部完了  ○宮領地係内道路改良工事 31,326千円 ・道路改良工事費  ○公有財産購入費（H24繰越分） 23,256千円 ・土地購入費				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 平成32 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	299千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	54,681千円	31,945千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	54,681千円	32,244千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.43人 3,057千円	0.44人 3,128千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.43人 3,057千円	0.44人 3,128千円	人	千円	人	千円	
	事業費	特定財源	総事業費	57,738千円	35,372千円	千円	千円	千円	千円	
			国県支出金	29,210千円	17,677千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			23,200千円	13,600千円	千円	千円	千円	千円		
その他			662千円	499千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			4,666千円	3,596千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	57,738千円	35,372千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市中心部と丸岡北部地域および国道8号線を結ぶ幹線道路の整備は、道路ネットワークの形成に重要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果 事業進捗率	%	目標値	21.3	達成率 7.3	達成率 20.4	達成率 --
		実績値		7.3	100	20.4
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率 56.5	達成率 41.6	達成率 --
		実績値		56.5	100	41.6
活動 事業費	百万円	目標値	50	達成率 31.4	達成率 30	達成率 --
		実績値	31.3	62.6	31.4	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	木部通学道線道路改良事業			事業コード	08020310107
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	渡邊 雄大
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	木部通学道線は木部小学校の指定通学路であるため、歩道整備を行うことにより、通学児童及び園児の安全確保を図る。				
	<p>◆木部通学道線道路改良事業（歩道）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体延長 L=640m</li> <li>・W=12m（車道3.5m×2、歩道2.5m×1~2）</li> <li>・全体事業費 85,000千円</li> <li>・事業年度 H21~H25</li> </ul> <p>【H25年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道設置 L=270m</li> </ul> <p>○工事請負費 22,554千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事費</li> </ul>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	平成25年度にて事業完了致しました。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度にて事業完了いたしました。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	22,554 千円	2,517 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	22,554 千円	2,517 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.26 人	1,848 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.26 人	1,848 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	24,402 千円	4,010 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		国県支出金	12,375 千円	1,375 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		地方債	9,600 千円	1,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		2,427 千円	1,635 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	24,402 千円	4,010 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	当初計画通り、事業完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	当初計画通り、事業完了しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	当初計画通り、事業完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	当初計画通り、事業完了しました。			
すぐに行ける改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度	—	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果 事業進捗率	%	目標値	100	達成率 73	達成率 70	達成率 48
		実績値	100	100	73	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値			30.8	---
活動 事業費	百万円	目標値	22.5	達成率 2.5	達成率 20	達成率 20
		実績値	22.5	100	2.5	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	加戸8号線道路改良事業			事業コード	08020310108
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	西畑 政伸
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

加戸8号線は加戸小学校の指定通学路であるため、歩道の整備を行うことにより、通学児童の安全確保を図る。

◆加戸8号線道路改良事業（歩道）

- ・全体延長 L=820m
- ・W=9.5m（車道3.5m×2、歩道2.5m×1）
- ・全体事業費 115,000千円
- ・事業年度 H21～H25

【H25年度事業内容】

- ・歩道改良 L=221m

○工事請負費 17,612千円

- ・道路改良工事費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	17,612千円	22,498千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	17,612千円	22,498千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.46人	3,270千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.46人	3,270千円	0.35人	2,488千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	20,882千円	24,986千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	9,680千円	12,320千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	7,500千円	9,500千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		3,702千円	3,166千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	20,882千円	24,986千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

成果	活動	指標名	単位	年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率		
事業進捗率			%	目標値	100	達成率	80	達成率	56	達成率	36	達成率	
				実績値	100	100	75	93.75	56	100	36	100	
事業費			百万円	目標値	17.5	達成率	27.5	達成率	20	達成率	20	達成率	
				実績値	17.5	100	22.5	81.82	20	100	20	100	
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値									
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値									
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値									
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値									

すぐにできる改善提案	地元等の調整や用地の取得は終了しているので、工事の推進を行います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	地元等の調整について再度確認し手戻りの無いよう工事を進捗させました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度の事業完了にむけて事業を推進していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	本年度で事業完了となりました。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
すぐにできる改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	上安田3号線道路改良事業			事業コード	08020310110		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治		
事業対象	坂井市民、道路利用者						
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容			
根拠法令	有	道路法、道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	上安田3号線は丸岡南中学校の通学路、また、磯部東幼稚園の送迎道路であるため、自転車歩行者道整備を行うことにより、通学生徒及び園児の安全確保を図る。						
	上安田3号線道路改良事業 ・全体延長 L=970m ・W=10.25m（車道3.25m×2、歩道3.5m×1） ・全体事業費 322,000千円 事業年度 H25～H31 【H25年度事業内容】 ・事業の進め方の検討						

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のなかで、安全で利用しやすいで道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	本年度は、国庫補助の関係により事業着手が出来なかった		
中長期的に取り組むべき改善提案	新工法や資源の有効利用を図り、コスト縮減及び事業の早期完成に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	来年度より実施設計を行うので、設計に反映させていきたい		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.09 人	640 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.09 人	640 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		640 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		640 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		640 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	近隣の中学校および幼稚園の通学路の安全確保を図るため必要な事業と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	早期着工に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行ける改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果 事業進捗率	%	目標値	5	達成率		達成率
		実績値	0	0		
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率		達成率
		実績値				
活動 事業費	百万円	目標値	0	達成率		達成率
		実績値	0	0		
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】



事務事業名	交通安全施設整備事業			事業コード	08020400101		
所管部署	建設課		電話	50-3051		記入者名	北出 泰章
事業対象	坂井市民 道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	安全・安心対策の充実			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	交通安全に資する工事	
根拠法令	有 道路法						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図ります。						
	交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と、道路照明灯・防犯灯の維持管理を行います。 ○光熱水費 18,878千円 ・道路照明灯、防犯灯の電気料 ○修繕料 9,500千円 ・照明灯、交通安全施設修繕料 ○委託料 1,221千円 ・道路照明灯維持管理委託料 ○工事請負費 7,998千円 ・照明灯、交通安全施設整備工事費						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	道路パトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。		
目標年度	平成25 年度		
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度	未設定 年度		
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	土木費		項	道路橋りょう費		目	交通安全施設費		
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	1,221 千円	1,221 千円	千円	千円				
		需用費	28,378 千円	24,503 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	7,998 千円	17,995 千円	千円	千円				
	事業費合計	37,597 千円	43,719 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.96 人	6,825 千円	1.45 人	10,308 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.96 人	6,825 千円	1.45 人	10,308 千円	人	千円	人	千円
総事業費	44,422 千円		54,027 千円		千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	44,422 千円	54,027 千円	千円	千円					
財源合計	44,422 千円	54,027 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性		このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	カーブミラー等安全施設の維持管理は、交通安全につながる重要な事業と考えます。					
実施主体の方向性		現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正な維持管理、迅速な対応を行うため市が実施します。					
コスト投入の方向性		現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な施設整備を目指します。					
人員投入の方向性		現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な施設整備を目指します。					
すぐに行える改善提案	道路パトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。					
目標年度	-- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。					
目標年度	-- 年度					

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	市内交通事故死亡数	人	目標値	0	達成率	0	達成率
			実績値		2	6	6
成果	交通安全施設の修繕件数	件	目標値	108	達成率	70	達成率
			実績値	100	92.59	108	154.29
活動	交通安全施設の修繕件数	件	目標値	108	達成率	70	達成率
			実績値	100	92.59	108	154.29
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

【事業の成果】



事務事業名	河川事務事業		事業コード	08030105101	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	米元 悟史
事業対象	坂井市民、関係地域住民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。

磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。

○賃金 1,901千円  
・磯部川、片川水門管理人賃金  
・河川管理清掃人夫賃  
○需用費 239千円  
・光熱水費 他  
○委託料 772千円  
・田島川、間島川水門管理委託料  
・河川維持管理委託料  
○工事請負費 3,291千円  
・大谷川、大滝川沈砂池浚渫工事費  
○負担金 710千円  
・九頭竜川水系水防演習負担金 他  
○補助金 2,586千円  
・地域をつなぐ河川環境づくり推進事業費補助金

予算	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	772	千円	741	千円	千円	千円	千円	
		需用費	239	千円	213	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	7,795	千円	8,930	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	8,806	千円	9,883	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.09	人	7,749	千円	1.17	人	8,318	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
	人件費合計	1.09	人	7,749	千円	1.17	人	8,318	千円	
総事業費		16,555	千円	18,201	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	3,474	千円	3,115	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	1,413	千円	1,741	千円	千円	千円		
	一般財源	11,668	千円	13,345	千円	千円	千円			
財源合計	16,555	千円	18,201	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	河川に関する苦情件数	目標値	6	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	6	100	10	8	---	8
活動	河川管理委託料	目標値	740	達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値	740	100	740	---	678	---
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	達成率	

すぐにできる改善提案	現状の体制により、サービス水準等の維持に努めてまいります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	大幅な事務改善余地はありませんが、事業のコストダウンに努めていきます。	
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	地域住民との協働による河川環境の維持に取り組んでまいります。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川適正な維持管理は、災害防止および環境美化の面からも重要なことと考え、継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県、地元住民との調整も必要となるので市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な維持管理を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な維持管理を目指します。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】